

認知症月間（世界アルツハイマー月間）の取組

9月の認知症月間（世界アルツハイマー月間）に併せて、吹田市の認知症支援に関する取組の展示、若年性認知症に関する啓発活動及び吹田オレンジフェアを開催しました。

認知症に関する普及啓発

期間：令和6年9月2日(月)～ 9月30日(月)



健都クリニックモール事務局前



吹田市立江坂図書館



吹田市立各図書館



アイン薬局各店舗



プラザ薬局南千里山店

若年性認知症に関する啓発

日時：令和6年9月26日(木) 14時～15時30分

会場：南千里地区公民館 視聴覚室

内容：若年性認知症をもっと知ろう！



参加者の感想

- ・ 高齢者と違い若年性認知症の支援の仕方の違いがよくわかりました。
- ・ 何から始めていいのかわからなかったが、一歩ずつ進む覚悟が出来たように思います。
- ・ 周りに若年性認知症の人がいた場合、今日の知識を使って早めに支援をしてあげられると思います。

☆ 吹田市立江坂図書館及び健都クリニックモールにおいて、認知症に関する支援の取組のパネル展示及びチラシやリーフレットの配架を行いました。その他、アイン薬局の各店舗及びプラザ薬局南千里山店において、認知症支援に関するチラシやリーフレットの配架を行いました。

☆ 南千里地区公民館視聴覚室において若年性認知症啓発活動「若年性認知症をもっと知ろう！」を開催しました。

認知症月間（世界アルツハイマー月間）の取組

吹田オレンジフェア

日時：令和6年10月8日(火) 14時～15時30分
会場：済生会吹田病院 東館2階センターホール1
内容：認知症サポーター養成講座



参加者の感想

- ・認知症になっても、たくさんのサポートがあると知り、ちょっと安心しました。
- ・認知症の方の言動には理由がある。認知症になってもできる事はたくさんあることを教わりました。
- ・私にできることがあれば応援者として参加したい。知識として知ることができて良かったです。

日時：令和6年10月29日(火) 14時～16時
会場：済生会吹田病院 東館2階センターホール1
内容：認知症サポーター対象 声かけ見守り訓練



参加者の感想

- ・済生会吹田病院の病院長が言われたように、街中で声をかけるのは勇気があることを実感しました。まわりに認知症のことを理解しておられる方がたくさんいるといいと思いました。
- ・どのように接したら良いか、実際に訓練を行うことで分かったことも多く、どうすれば良かったか難しいと感じることも多かったですが、これからも対応を考えていきたいです。
- ・今後、声かけのタイミングがあれば、最初に何て声をかけたら良いのかを迷わないと感じました。
- ・声かけを体験できることは大変貴重でした。なおかつ、他の人の声かけ方法が見れたことで、自分の経験値を増やすことができました。
- ・訓練をすることにより、自分と違った接し方、言葉使いを知ることができました。これからも参加したいと思います。

【まとめ】 認知症は誰にでも起こりうる身近な病気です。団塊の世代が75歳以上となる2025年（令和7年）には、高齢者の5人に1人が認知症を発症すると言われています。吹田市では、認知症について正しく理解し、認知症の人や介護するご家族が、安心して暮らし続けることができる地域づくりに取り組んでいます。これからも、認知症に関する普及啓発を行い、認知症の人やご家族を支援する関係機関や認知症サポーターとも連携しながら、「認知症になっても安心して暮らせるまち吹田」になるように取り組んでまいります。

作成：吹田市認知症地域支援推進員